



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：森 雄治 幹事：松村 耕三 発行：会報・広報委員会

第 2888 例会 (16号) 2013 年 10 月 24 日 (木) 曇のち雨

会員卓話 SPEECH

「米山記念奨学会について」

米山記念奨学会委員会 委員長
飯野光世 会員



今月は米山月間です。米山記念奨学会がパワーポイントの資料を出しましたので、それを使います。去る 9 月 9 日に、米山記念奨学会の委員長セミナーが開かれました。出席できませんでした。森会長が出席されました。地区の活動方針として、米山記念奨学会の理解の推進と、1 人当たり寄付額 1 万 6 千円、普通寄付 5 千円、特別寄付 1 万 1 千円以上が掲げられました。このほか、アフターフォローや、2530 地区の学友会の確立なども掲げ

られました。

(以下はパワーポイントの内容)

米山記念奨学事業は、日本の全ロータリアンが参加し、推進している事業です。日本で学ぶ外国人留学生在に奨学金を支給し、支援しています。1 年間に全国で約 800 人、これまでに 121 カ国から 1 万 7,028 人を支援しています。日本には外国人留学生を対象とする民間奨学団体が 129 団体ありますが、米山はその中で最大の事業規模です。今後、海外から、より多くの留学生を呼び寄せようとしている日本の留学生政策にも大きく貢献しています。今回は、皆さんにお話したのは、留学生の支援は、どんな時でも継続すべき重要な事業であるということです。昨今の日本経済は低迷し、東日本大震災がありました。日本が大変な今、命にかかわるわけでもない奨学事業は後回しでもいいのでは、と思う方もいらっしゃると思います。また、日本人の若者の内向き指向、経済的事情で進学させられないなどのニュースを聞き、外国の学生にお金をあげるよりも日本人の若者へ、との声もあるでしょう。また、近年の留學生は入国する際、母国での一定の収入が求められます。いわゆる苦学生のイメージとは遠い学生もいて、奨学金が本当に必要なのかと戸惑う方もいらっしゃると思います。

なぜ、日本のロータリーが外国人の留學生を支援し続けているのでしょうか。日本で最初の青少年交換が行われたのは 1962 年、オーストラリアとの交換でした。これを実現させたのは、第二次世界大戦で日本との戦いで、両眼を失ったオーストラリア人でした。戦後、ロータリアンになった彼は戦争の愚かさや平和の大切さ説き続け、自らの視力を奪ったかつての敵国、日本との友好親善を回復することこそが急務であると考えたのです。次の時代を担う日豪の若者を育てることによって、戦争の悲劇を乗り越えたい、それが彼の願いでした。

日本のロータリアンによる米山の歴史は、さらにさかのぼります。ロータリー米山記念奨学事業の米山とは、日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉翁のことです。1946 年に翁が亡くなった後、その功績を永遠に偲ぶことができる事業ということで、1952 年、東京ロータリークラブが米山基金を立ち上げました。なぜ、外国人留學生へ奨学金という事業が選ばれたのは、いくつか理由があったようですが、戦後の復興に向かい始めた当時、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、平和日本を肌で感じてほしいと、当時の日本のロータリアンたちの強い思いがありました。東京ロータリークラブが始めた米山基金がわずか 5 年で、日本の全

ロータリークラブの共同事業になったことも、この事業への大きな期待が感じられます。

教育とは人間の核をつくるものです。識字のように生きるための教育があり、また、教養など生き方を変えることにつながる教育もあります。米山奨学生は海外から日本に来て、専門知識を学ぼうとする優秀な人です。勉強だけではありません。米山の大きな特徴である世話クラブ、カウンセラー制度によって、世話クラブの例会に参加したり、ロータリアンと共に奉仕作業を体験することで、日本人の心、ロータリーが求める平和への願いを理解してもらい、平和の懸け橋となる優秀な人材を育てることができます。これこそが、日本のロータリアンが受け継いできたこの事業の神髄です。領土問題や紛争などによって民間交流の絆は時に途切れそうになり、不信に陥ることもあります。けれども、理解なくして友情は生まれず、友情なくして真の平和はありません。政治や国というフィルターのない人と人の交流こそが絆を少しずつ強くします。

この写真は 2010 年の夏、尖閣諸島問題で、緊張が高まる中、中部名古屋未来ロータリークラブの一行が中国・北京の米山学友会を訪ね、共に養護施設の子供達と一日を過ごした写真です。この日は 9 月 18 日で満州事変が起きた国辱の日として、日本への反感が最も高まる日です。当時、中国学友会長は次のように振り返っています。なぜ、このような時期に日本人が来たのか、中国人はなぜ、日本人を歓迎してきたのか、その共通の何があったのか。それはロータリー精神でした。ロータリー精神とは国境を超えて、政治問題を超えて、歴史問題を超えて、将来、必ず宗教と紛争問題をも超えられる人類が共有すべき、基本的な価値観を追求すべき精神です。

皆さんの米山に対する支援に感謝します。財政状況ですが、米山に寄付されたお金は全額、奨学事業に使われています。事務局、人件費などの管理費支出は資産の利子収入で賄い、頂いた寄付はすべて奨学事業にだけに使われています。

ただ、寄付金は近年、不足しています。昨年度の寄付金は 12 億 9,500 万円で、奨学金と補助費の支出は 14 億円で、不足は特別積立財産から取り崩しました。しかし、特別積立財産平均は 1 万 4,624 円、最も高かったのは、第 2590 地区の 2 万 8,924 円でした。当地区は 1 人平均 1 万円、全国で第 26 位でした。ロータリアンのうち、特別寄付を協力しているのは、40% 弱です。この割合を増やせるようにご協力をお願いします。

当地区の 1 人当たりの平均寄付額は 2011 年度に 1 万円でした。今年度の目標額は 1 万 6,000 円としました。地区で奨学生を何人採用できるかは、ほぼ寄付額の全国比で決まり、今年度は 14 人の割り当てですが、次年度は 8 人となりました。

奨学期間が終わった後もロータリーとの接点を持つために有効な組織が学友会です。学友会は元奨学生と現役奨学生で組織され、日本国内に 30、海外には台湾、韓国、中国にあります。2012 年 5 月にはタイに海外 4 番目の学友会が設立されました。学友会によって、活動内容は異なりますが、災害ボランティア、地区大会でのお茶サービスなどさまざまな活動を行っています。

米山奨学事業は日本のロータリーが世界に誇ることでできる国際貢献事業です。教育への投資は国際親善、交友に計り知れない長期的波及効果があります。そして、日本に来て学ぶ留學生にロータリーの心、日本人の心を伝え、お互いに信頼関係を築くことで、世界の平和と発展に貢献することです。米山のたすきは今、われわれの手にあります。

次の世代にこの事業を伝えるために、米山の灯を燃やし続けましょう。

いわき平ロータリークラブの年間の特別寄付額は 55 万円、先週現在で、27 万 1,000 円で、49.3% の達成です。会員目標達成は 37 人、達成率 74% と素晴らしい成績です。分区の奨学生はいわき四倉、いわき桜、いわき常磐の 3 人です。ご支援をお願い申し上げます。



2013~2014年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を」

Engage Rotary, Change Lives

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：坂本副幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（阿部弘行会員）〕



阿部弘行会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

○東京国分寺ロータリークラブ会長の山内千枝様、幹事の飯沼克美様、会場監督の原田雅章様
 東京国分寺ロータリークラブあいさつ第2750地区東京国分寺ロータリークラブ会長の山内でございます。飯沼幹事、原田S. A. A委員長と3人で出席しました。いわき平ロータリークラブは普段の活動のみならず、被災地支援の受け皿ともなわれ、毎日、ご多忙な日々を送っていると思いますが、国分寺ロータリークラブの社会奉仕として、復興支援のお役に立ちたいということで、飯沼幹事の奥様が福島出身であり、人伝てに新妻会員、森会長、伊藤社会奉仕委員長と紹介を頂き、社会奉仕を活動を受け入れて頂きました。ロータリーは全国で東日本大震災基金や、ロータリー希望の風奨学金などの支援活動を行っていますが、地元の方の生の声を聞き、今、何が本当に必要なのかを聞きたくて、参りました。震災孤児・遺児の心のケアや教育をどうするのか、子供達が立派な大人になるように支援したいと思えます。福島の復興はまだまだ大変ですが、一日も早く震災前の穏やかで豊かな社会になるように応援します。



山内千枝会長

★結婚祝



安田信二さん
(10月28日)



松崎 浩さん
(10月29日)

★誕生祝



阿部弘行さん
(10月30日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶ならびに報告



朝晩、めっきり寒くなってきました。風邪をひかないようにご自愛ください。本日は幹事が休みで、副幹事に司会を務めてもらっています。国分寺ロータリークラブの皆様には遠方からお出で頂き、また、社会奉仕委員長と具体的な話を詰めて頂き、感謝します。

先日のいわき分区の会長・幹事会で、決まったことを報告します。まずは、11月の地区大会では地元としてのお手伝いのお願いがありました。具体的な内容は幹事から連絡しますが、われわれは平地区の駐車場案内となりました。青少年交換留学生については、今までのいわき方式を見直すということで、とりあえず休止し、今後、どう取り組むかは各クラブの自主的な考え方になっていくようです。もう一つは、分区内の事業変更ということで、IM、インターシティーミーティングを開かないという明言がありました。また新会員合同セミナーについては、過去3年の入会者、今は13人いますが、その方が受けられるようになります。11月27日午後6時半からです。

◆幹事報告

- 太田ロータリークラブから礼状が届いています。
- 勿来ロータリークラブから会報が届いています。
- はまなす荘より会報が届いています。
- いわき小名浜ロータリークラブより11月のプログラム予定表と会報が届いています。

委員会報告

◆出席委員会（坂本佳友副幹事（代理））

例会日	基本会員数	出席者	メーカー数
10月24日	51名	27名	—

◆ロータリー財団委員会（山野辺倉平委員長）

新田俊彦さん、志賀弘昌さん、大久保健蔵さん。
以上3件

◆米山記念奨学会委員会（飯野光世委員長）

飯野光世、志賀弘昌さん、松崎倫久さん、新田俊彦さん、大久保健蔵さん。以上5件

◆社会奉仕委員会（伊藤盛敏委員長）

10月11日に太田ロータリークラブを案内し、小学校に図書券の寄贈を行いました。10月27日には猪苗代湖の除草支援が地区の社会奉仕の事業として行われます。平から6人が参加予定です。なお、会長から話がありましたが、東京の国分寺ロータリークラブの皆様がお出でになっています。震災の孤児、遺児の心のケア施設のチャイルドハウスが誕生しますので、いわきの子供達のための支援先として、ロータリー文庫の寄贈を提案しました。

◆スマイルボックス委員会（関口武司委員長）

♥山内千枝さん、飯沼克美さん、原田雅章さん（この度、復興支援地区補助事業の被災地の小中学生に対する支援に多大なるご協力を賜わりありがとうございます。心より感謝してニコニコします）♥森雄治さん（国分寺RC山内会長、飯沼幹事、原田SAAの来訪を歓迎します。この度はありがとうございます）♥坂本佳友さん（東京国分寺ロータリークラブ会長山内千枝さん、幹事飯沼克美さん、SAA委員長原田雅章さんお世話になります。よろしくお願ひいたします）♥鈴木浩さん（本日もよろしくお願ひ致します）♥薄井親一郎さん（3カ月皆勤ありがとうございます）♥飯野光世さん（今月は米山月間です。ご協力をお願いします）♥阿部弘行さん（誕生祝ありがとうございます。早退します）♥松崎浩さん（結婚祝ありがとうございます）♥酒井睦雄さん（国分寺RCを歓迎して）♥安田信二さん（結婚祝ありがとうございます）以上、10件

★本日の例会案内 10月31日(木)PM12:00～
職場訪問例会 福島工業高等専門学校

★次回の例会案内 11月7日(木)PM12:30～
ロータリー財団担当卓話
山野辺ロータリー財団委員長
お食事メニュー＝豚フィレ肉のフリカッセ